

広島県臥竜山麓におけるカラアカハラの繁殖確認

上野 吉雄^{1)*}・伊東 進也²⁾・原 竜也³⁾・石井 秀雄⁴⁾・前田 要⁵⁾

¹⁾ 認定 NPO 法人西中国山地自然史研究会・²⁾ 広島市南区堀越・³⁾ 一般財団法人広島県環境保健協会・
⁴⁾ 広島県立佐伯高等学校・⁵⁾ 広島市安佐北区鈴張

The Breeding Records of Grey-backed Thrush *Turdus hortulorum* at the Foot of Mt. Garyu, Hiroshima Prefecture

Yoshio UENO*・Sinnya ITOH・Tatsuya HARA・Hideo ISHII・Kaname MAEDA

報告

カラアカハラ *Turdus hortulorum* は、シベリア南部、アムール川流域、ウスリー川流域、中国北東部、朝鮮半島などで繁殖し、中国南東部、インドシナ半島、希に日本や台湾で越冬する(日本鳥学会 2012)。国内では、西中国山地で繁殖が確認されている(小海途ほか 2018)。

これまで、北広島町では、繁殖期である 2012 年 5 月に掛頭山で、2013 年 7 月に臥竜山で確認されている(上野ほか 2014)。

今回、カラアカハラの繁殖を確認したのは、北広島町の臥竜山麓八幡原公園(34°42' N 132°11' E、標高 804m)の霧ヶ谷湿原付近で、高木層としては、アカマツ *Pinus densiflora*、ヤマザクラ *Prunus jamasakura*、コシアブラ *Acanthopanax sciadophylloides* などが見られ、低木層としては、カラコギカエデ *Acer ginnala*、サワフタギ *Symplocos chinensis*、クロモジ *Lindera umbellata* などが、林床にはササ属が見られる。鳥類相としては、アカショウビン *Halcyon coromanda*、クロツグミ *Turdus cardis*、ミヤマホオジロ *Emberiza elegans* などが繁殖している(図版 1-A)。

2020 年 6 月 17 日に霧ヶ谷湿原付近でカラアカハラのさえずりを確認し、19:43 に写真撮影した(図版 1-B)。6 月 19 日 9:00、6 月 20 日 4:20、6 月 28 日 9:30、7 月 2 日 9:30、7 月 8 日 12:00 にも同所でカラアカハラのさえずりを確認し、録音した。

10 月 4 日に、カラアカハラのさえずりを確認した地点から西に約 500 m 離れた千町原における鳥類標識調査で、カラアカハラのオス幼鳥とメス幼鳥を捕獲した(図版 1-C, D, E)。

以下に計測値を示す。

オス幼鳥 翼長：115.6mm 跗蹠長：34.2mm 尾長：82.4mm 嘴峰長：17.3mm

メス幼鳥 翼長：109.7mm 跗蹠長：32.9mm 尾長：79.2mm 嘴峰長：17.3mm

今回の調査ではカラアカハラの巣は確認できなかったが、6 月から 7 月にかけてさえずりが確認され、近くで幼鳥も捕獲されたことから、臥竜山麓八幡原公園においてカラアカハラが繁殖していることが明らかになった。

引用文献

小海途 銀次郎・和田 貞次・奥野 一男(2018)日本におけるカラアカハラの完成した巣と卵の初確認記録. *Strix*, 34: 105-109.

日本鳥学会(2012)日本鳥類目録 改訂第 7 版. 日本鳥学会, 三田

図版 1



A : カラアカハラの生息環境 2020年10月24日
B : カラアカハラのオス成鳥 2020年6月17日
C : カラアカハラの捕獲地点 2020年10月17日
D : カラアカハラのオス幼鳥 2020年10月4日
E : カラアカハラのメス幼鳥 2020年10月4日